

(シラバスNo.8)

科目名	教育社会学特論	科目コード	17P-K5	
			21P-S5	
		科目群名	(2017年カリキュラム) 関連科目	
			(2021年カリキュラム) 基幹科目	
	Advanced Seminar on Sociology of Education	必修/選択	選択	
	教職	小・中・高		
担当教員	石原 朗子	単位数	2	

【授業概要】

教育は教育のみでは成り立ちません。教育のあり方には社会の状況が大きく関わっています。本特論では、はじめに教育社会学を中心に代表的な研究アプローチを学び、それを踏まえて初中等教育・高等教育、職業に関する教育をめぐる多様な教育課題について検討していきます。特色として、テーマは固定しつつ、**各年度で受講生がどのような教育機会に関わっているか、「教育」に対して、あるいは「教育と社会の関係」に対してどのような関心を持っているかを履修登録後に確認し、興味関心を反映して授業を展開していく**ことです。一定のテーマに関して、現代に何が問題になっているか、国際比較で何が述べられているかを知ることにより、教育を客観的に考察する能力も身につけていきます。

本授業は、文献による予習と授業でのディスカッション、授業後の振り返りという形式で進みます。その一連の流れの中で、教育と社会を関連させて考えていきます。そして、それにより情報の整理の仕方、資料の読解力、論理的な思考力を身につけることを目指していきます。

【授業の到達目標】

本授業の到達目標は以下の3点である。

1. 教育社会学の学問的な特徴について理解できる（第1～2回、第15回）
2. 教育をめぐる主要トピックについて、指定された文献を自ら読み解き、仲間と議論する中で、教育を社会とのかかわりで見ることができる（第7～14回、第15回）
3. 教育社会学に関する研究法・アプローチについて理解し、実践を客観的に捉えることができる（第2～第6回、第15回）

【授業の形態】

メディア授業の実施（あり）

<授業の特徴>（主に実施に◎、実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	・教育社会学の学問的位置づけと概観の紹介（第1～2回） ・研究法や教育社会学の各テーマに関する最新動向の紹介（第3～第14回）
グループワーク・質疑	◎	・教育社会学の各テーマに関するトピックに基づいた議論
演習		
プレゼンテーション	○	・研究法や教育社会学の各文献の学生担当個所の他の受講学生への紹介
制作		
その他 ()		

【授業計画】	
回	内 容
1	教育社会学の視点
2	日本の教育社会学
3	教育社会学の研究法：主要な研究法と既存調査の活用
4	教育社会学の研究法：質的研究法
5	教育社会学の研究法：量的研究法
6	教育社会学の研究法：混合研究法
7	学力問題（1）：学力格差や学びの実態をめぐって
8	学力問題（2）：仕事と学力をめぐって
9	学校と階層（1）：学校への適応をめぐって
10	学校と階層（2）：多様化する児童・生徒・学生への教育をめぐって
11	高等教育（1）：機会均等をめぐって
12	高等教育（2）：労働市場とのかかわりをめぐって
13	職業と教育
14	ICTの進展・グローバル化と教育
15	教育社会学で教育課題を見るということ
試験	
<p>【履修上にあたっての準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 履修登録後、受講開始までに、受講生調査を行う予定です。各学生の教育社会学への関心を調べる内容のため、必ず回答してください。 教科書に示された『社会調査の基礎』は、上記調査の結果によらず用います。第1週の受講時には準備して持参してください。第7回以降の教材については初回に指示します。 本授業にあたって、教育社会学の前提知識は必要としません。ただし、教育事象について関心を持ち、主体的に発言する姿勢、課題に取り組む姿勢は必要となります。 	
<p>【授業外学修（予習・復習）】</p> <p>1) 予習 第3回～第14回は、読むべき資料や文献が指定されます。その資料・文献に基づいて授業が行われるため、学修効果を高められるよう、指定された講読の予習をして、事前学修シートを提出してください。資料・文献の読み方のポイントは、前の週の授業時にお伝えします。</p> <p>2) 復習 各回で振り返りシートを書いていただきます。振り返りシートの内容はご自身の積み上げになるだけでなく、翌週の議論の題材にもなることもありますので、各週の指定された期日までに提出をお願いします。</p> <p>3) 第15回の予習・復習は別途授業時に指示します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>「授業内で課す発表・議論における取り組みと事前学修・振り返りの提出状況」（50%）、「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価します。</p>	
<p>【教科書】</p> <p>北川由紀彦、山口恵子（2019）. 『社会調査の基礎』, 放送大学教育振興会（第3～6回で使用します） （2015年度版でないためご注意ください）</p> <p>※第1・2回は教員が当日に教材を配布します。 ※第7～15回は、教育社会学に関する書籍の一部や論文を利用します。各回の範囲、内容については初回授業時に指定します。</p>	
<p>【参考図書】</p> <p>佐藤学ほか編（2016）. 『社会のなかの教育』（岩波講座 教育 変革への展望 第2巻）, 岩波書店 ※その他、毎週、参考文献を紹介していきます。</p>	